



子どもたちは成長した姿を見せてくれました

8月24日から始まった2学期。1年間で最も長く、そして学習活動や学校行事に充実したこの学期も、明日をもって終わります。コロナ禍のもと、多くの制約の中で子どもたちは学校生活を送ってきました。たくさんやってみたくことや、思い切って自由にしたいことがあったことでしょう。表情や言葉に出さなくても、きっと多くのストレスを抱えてきたことと思います。

でも、子どもたちは、マスクの着用や手洗いなど感染予防に向けた行動をとり、一定のルールを守って過ごしてきました。そのこと自体が、まず成長を感じさせるものでした。

次に、授業時数の確保のため、ほぼ毎日教科学習の連続となりましたが、家庭学習も含め、長い2学期よく続けてきたと思います。一方、学校生活における課題の改善にも取り組みました。例えば、学習用具やハンカチ等の忘れ物をしないようにするため、児童会も主体的にかかわり、声かけや確認などを行ってきました。ずいぶん忘れ物が減り、気持ちよく生活を送れるようになってきたことも立派です。くつそろえや気持ちのよい挨拶ができる子どもも増えています。

また、子どもたちが健やかな成長を遂げていくためには、人との関わりの中で目標に向けて全力で取り組んでいたり、自分たちで楽しい活動にするために仲間と協力しながら創意工夫して取り組んだりする学校行事が不可欠です。感染予防対策を講じながらですが、実施できたことも本当によかったと思っています。運動会や音楽会、たてわり遠足、5年生の臨海学校、そして6年生の修学旅行。教室での授業だけでは経験できないような学びを通して、子どもたちは力をつけ、伸ばすことができました。その場にいる私たちに、成長ぶりを見せてくれたこと、すごくうれしく頼もしく感じました。

振り返ってみますと、さまざまな場面が目に見えます。各学級担任をはじめ、本校の教職員は、私よりもっと子どもと関わる機会が多いので、もっと子どもの成長を感じた場面が浮かぶことでしょう。保護者の皆さまはいかがですか。ご家庭でのお子様の様子で、成長ぶりを感じたのはどんな場面でしょうか。学童期の子どもの成長は著しいものがあります。時に私たちの想像をはるかに超える場合があります。2学期を終えようとする今、ぜひお子様と2学期を振り返ってみてください。「2学期、心に残っている出来事は何か?」「一番頑張ったことは?」などお話を聞いてみるのもいいと思います。お家の方に頑張りを認めてもらったうえで、次の課題へ励ましをもらおうと、子どもはきっと前向きに努力をしていくことでしょう。

個人懇談会へのご出席、ありがとうございました

限られた時間ではありましたが、各担任と、学校の授業中や休み時間の様子、学習成績、友達との関係のことなど、お話することができました。また、保護者の方からもいろいろな話を出していただきました。懇談会でお話した内容は、子どもたちのさらなる成長に向けた取組みに生かしていきたいと思います。また、今回コロナ感染症対策として、検温やマスクの着用、手指の消毒等にもご理解ご協力を賜り、重ねてお礼を申し上げます。

当たり前のできることに感謝

子どもたちが朝登校してくる様子は、当たり前のように思っておりますが、今赤信号が灯されている大阪の現状を考えますと、ひとえにご家庭で保護者の皆さまが心身の健康管理をいただいているおかげです。そして、平素から子どもを見守っておられる地域の皆さまのご尽力のおかげです。心よりありがたく感謝いたします。